



# 戦争をさせない Anti-War Committee of 1000 1000人委員会

1000人委員会ニュースNo.17  
(2015年4月10日号)  
〒101-0063東京都千代田区  
神田淡路町1-15 塚崎ビル3階  
TEL:03-3526-2920  
FAX:03-3526-2921

## ■平和といのちと人権を！5・3憲法集会 ～戦争・原発・貧困・差別を許さない～

「平和」と「いのちの尊厳」を基本に、日本国憲法を守り、生かします  
集団的自衛権の行使に反対し、戦争のための全ての法制度に反対します  
脱原発社会を求めます

平等な社会を希求し、貧困・格差の是正を求めます

人権をまもり、差別を許さず、多文化共生の社会を求めます

5・3憲法集会ウェブサイト：

<http://kenpou2015.jp/>

5月 3日(日) 12時30分～15時30分※開始時間が早まりました

場所：横浜みなとみらい・臨港パーク

出演：大島花子(歌) / 岡大介(カンカラ三線・唄) /  
ハルノトモ(和太鼓) / クミコ(歌)

お話し：大江健三郎 / 樋口陽一 / 雨宮処凛 / 落合恵子 /  
香山リカ / 澤地久枝 / 沖縄からの発言

リレートーク：戦争・原発・貧困・差別をめぐって

主催：5.3憲法集会実行委員会



集会成功と新聞広告のためのカンパを募っています

(一口1000円、なるべく複数口でお願いします)

<郵便振替>口座記号番号：00160-7-586990 / 加入者名：5・3憲法集会

<銀行振込>ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキユウ)店 / 店番019 / 当座預金 / 口座番号:0586990 / 口座名：5・3憲法集会

## ■4.2「平和といのちと人権を！5・3憲法集会」記者会見

4月2日、衆議院第2議員会館で「平和といのちと人権を！5・3憲法集会」実行委員会が記者会見を行い、多くの市民の参加を呼びかけました。

戦争をさせない1000人委員会呼びかけ人の福山真劫さんは、「憲法をないがしろにし、戦争をする国へと向かう安倍政権の暴走を止め、希望ある未来をつくるために総がかり行動を成功させよう」と訴えました。また、「解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会」の高田健さんは「多くの市民と共同して安倍政権の暴走を阻止しよう」とアピールしました。



5・3憲法集会記者会見(4月2日、衆議院第2議員会館)

5・3憲法集会は、横浜市みなとみらい地区の「臨港パーク」(みなとみらい線「みなとみらい駅」下車)で、12時半からプレコンサート、1時半からメインステージが行われます。

### ■3.7 緊急学習会「戦争法に備えよ」

3月7日、戦争をさせない1000人委員会と社会文化法律センターは、連合会館で緊急学習会「戦争法に備えよ」を開き、市民など約240人が参加しました。

はじめに、社会文化法律センター代表理事の宮里邦雄さんが、「安倍政権は自衛隊を異次元の活動へ狩り出そうとしている。我々は、安倍首相の道連れになりたくない」とあいさつ

しました。続いて、日弁連憲法問題対策本部・社文センターの福田護さんが予想される戦争関連法案を示しながら情勢報告を行い、「いよいよ正念場だ。膨大な安保法制のどこがどう問題なのかしっかりと捉える必要がある」と訴えました。



青井未帆さん

基調報告では、1000人委員会呼びかけ人の青井未帆さん（学習院大学教授・憲法学）が「9条は単なる理想論ではなかった。外交の手段として軍力を使う国に日本がなってもいいのか。国益を軍力で追及する国にしたいのか」と述べた上で、戦争法制について「日本は普通の国ではなく、戦争放棄している国の法制であることを考えなければいけない。9条やこれまでの防衛法制との整合性を考えていない。有事も平時も集団的自衛権に限りなく近づいてしまう」と警鐘を鳴らしました。



福田護さん



海渡雄一さん

後半は、海渡雄一さん（社会文化法律センター共同代表）の司会でパネルディスカッションが行われ、コメントーターに青井未帆さん、福田護さん、藤本泰成さん（戦争をさせない1000人委員会事務局長代行）が参加し、活発な議論が繰り広げられました。



藤本泰成さん



内田雅敏さん

また、1000人委員会事務局長代行の清水雅彦さん（日本体育大学教授）が運動論を述べ、「特定秘密保護法に比べて閣議決定反対は盛り上がっていない。国民一人一人の問題という意識が少ない。総がかり行動実行委員会は、3団体が共催で結成され、今まで一緒にできなかった団体が安倍政権に対抗するため行動し始めた」と運動への協力を呼びかけました。さらに、1000人委員会事務局長の内田雅敏さん（弁護士）は、「9条は13条との関連で論じられなければならない。いまや13条



清水雅彦さん



戦争法制について活発なパネルディスカッションが交わされた（連合会館大会議室）

で9条が攻撃されている。武器輸出三原則の緩和による軍産複合体が集団的自衛権行使の具体的な現れではないか」と指摘しました。質疑応答では会場の参加者からも質問・意見が出され、活発な議論が交わされました。

最後に藤本泰成さんが、「戦争は最大の人権侵害だ。運動を分岐させずみんな一緒に取り組もう」とアピールして閉会しました。

## 質疑応答（抜粋）

**質問** 存立事態とは誰が判断するのか？

**【青井】** あえて法律の中では触れず、「内閣として決定する」としか書かないのではないかと。

**質問** 戦争できる国づくりの本質はどこにあるのか？「中国や韓国が攻めてくる」「イスラムの攻撃に屈しない」など色々言っているが、安倍首相一人の考えで動いているのか、それともアメリカの外圧によるものなのか？

**【藤本】** 集団的自衛権に対する米国の要求、外交的な圧力があるだろう。

**質問** 安倍政権がアメリカ追随なのか、アメリカからの脱却なのか？

**【福田】** アメリカのアーミテージ・レポートの要求など、要請に沿うような形で関係作りが進められてきたので追随だが、一方で日本の国威を発揚するというのが安倍政権のやり方だろう。

**質問** 国民投票の年齢が18歳まで下げられるが、どのように若い人にこの問題を広げればいいのか？

**【青井】** 集会の時に託児所を設置したりする団体もある。集会に参加できない人もたくさんいるが、大学には柔軟な考え方ができる学生もたくさんいて、思いのほか平和文化は分厚い。

**【海渡】** いま戦後史を画する大変なことが起きようとしている。安全保障は難しい側面もあるが、危機感を持って若い人に伝えていこう。

## ■みなさんからのメッセージ（3.7緊急学習会「戦争法に備えよ」アンケートから）

— 安倍政権が従来の法概念とは無縁な論理展開をしていることがよくわかりました。このこと自体が最も危険な兆候だということを暴露して反対しなければいけないのだと思います。マスコミはこの問題を「歯止め」がどこまでかかっているかに絞って報道しているように見えます。安倍政権は平時から戦争を準備しようとしていることに警鐘を鳴らすべき時だと思いました。



会場からも多くの質問が寄せられた（連合会館大会議室）

— 私は33歳です。職場では同年代や年下の者ばかりか、年上の職員さえ、戦争や歴史の問題に関心に見えます。その類の話をするのがタブーのような空気もあります。

— 法律を変え、都合のよい法律を作り、戦争体制をつくるという安倍政権を益々痛感しました。手をこまねいている場合ではありません。

- 論理的には、現政権の違法性は明らかであり、個別の政策には国民の多数が反対意見を持っているはず。しかし、なぜ運動が今一つ盛り上がらないのか。餌を撒かれて尻尾を振っているか、骨抜きにされているのか、マスコミ操作が巧みなのか、無関心あるいは他力本願なのか。いずれにせよ、多くの人々を立ち上がらせて声を上げていくことが最も重要だ。
- 戦争法制を考える時に、国民が殺されるという可能性だけでなく、他国のお父さん、お母さん、子どもたちを数百倍の確率で殺し、生活を破壊するという側面から意識する必要があります。
- 少子化の中で若い世代を世界戦争に駆り出すことになるわけですが、隊員募集のために高校生が狙われています。アメリカ同様に隊員になれば教育の機会が与えられる等、貧困問題と絡めて危険性を問題にするべきだ。国家公務員としての自衛隊員の問題や、海外派遣帰りの隊員の自殺問題などもさらに議論するべきだ。

### ■3.27「戦争をさせない全国署名」を内閣府に追加提出

昨年3月から全国各地でとりくんできた「戦争をさせない全国署名」の締め切り後に頂いていた追加分3万2589筆を3月27日に内閣府へ追加提出しました。「戦争をさせない全国署名」は、第1次集約（6月12日提出）、第2次集約（11月10日提出）、第3次集約（12月19日提出）と合わせて総計257万264筆に達しました。署名をいただいたすべての皆様に感謝申し上げますとともに、あらためてスタートした、「戦争をさせない全国署名<2015年版>」（第1次署名締め切り：5月31日）へのご協力をよろしくお願い申し上げます。



### ■集会・活動スケジュール

4月10日時点での予定です。日程変更や緊急の行動呼びかけをさせて頂くことがあります。詳細はホームページをご覧頂くか、事務局までお尋ねください。

**4月 14日（火）18時30分～ 安倍政権の「戦争できる国」づくりを許すな！憲法違反の戦争法制定を阻止しよう！ 4.14院内集会**

場 所：衆議院第二議員会館・大会議室

講 師：半田滋さん（東京新聞論説委員・編集委員）

※参加無料です。会館入口で入館証をお配りします。

**4月 27日（月）18時30分～19時30分 日米ガイドライン改定・戦争関連法制定反対！安倍政権の憲法破壊を阻止しよう！ガイドライン改定に反対する4.27官邸前行動**

場 所：首相官邸前

主 催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

<事務局からのお願い>

各地域で活動されている皆さんの取り組み、1000人委員会の立ち上げ、賛同者の皆様のメッセージなどを掲載します。事務局へ手紙、FAX、メールでお寄せください。紙面の都合上、掲載しきれない場合はご了承ください。